



なかむら けんたろう  
中村 健太郎  
国民民主党田原市議団



## さらに地域を活性化させるための考えは

いかに本市全域に効果を波及させるかが重要だと捉えている

### 田原市サーフタウン構想について

**問** 田原市サーフタウン構想戦略プランで実施した3つの施策を柱とした取り組みの評価は。

**答** サーフタウンとしてのイメージ向上が図られ、交流人口の拡大に結びついていると評価をしている。また、地域の活力維持や拡大、地域の魅力や住みよさの向上に結びついていると評価をしている。一方、より多くの地域の方に理解され、応援される取り組みとなるよう、その目的をより浸透させていく必要があると考えている。

**問** 地域の人にとって、住みよさの向上にどのような効果があるのか。

**答** 国道42号沿いを中心に民間事業者によるサーフショップや食料品の小売店、飲食店など新たな出店が促進されており、住民の日常生活においても必要とする商品やサービスがより身近に利用できるようになり、結果として住みよさの向上につながっていると感じている。さらに交流人口が増えることで移住や定住の促進にもつながり、コミュニティや地域に必要な公共サービスの維持に寄与していると捉えている。

**問** LaSea（※）の開発に当たり、地元住民や地域コミュニティへの説明や周知はどのように取り組んできたのか。

**答** 機会を捉え、地権者をはじめ地元住民や地域コミュニティへ説明を行ってきた。また、周知においても、地域コミュニティと相談した上で、適宜チラシを作成し、全戸配布及び回覧を行い、住民の皆さまの理解を深めてきた。



※LaSea  
田原市サーフタウン構想に基づいて高松町地内に造成された住宅地のこと。



- 問** 高齢期における健康寿命延伸に向けた取り組みの課題は。
- 答** 核家族化に伴うひとり暮らしや、高齢者のみ世帯などの増加による高齢者の孤立化、認知症などの予防や早期診断が十分でない点などが挙げられる。
- 問** 医療・介護などが連携する地域包括ケアシステムにおける新たな取り組みはあるのか。
- 答** 市内で唯一高齢化率が50%を超える蔵王地区をモデルとし、生活状況や地域での支え合いについての実態把握調査を実施している。
- 問** 認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることが健康寿命の延伸にもつながると思うが、今後の取り組みは。
- 答** 地域における身近な通いの場づくりや、見守り活動を引き続き支援するとともに、チームオレンジの活動の輪を広げるなど、地域ぐるみで認知症施策に取り組む機運を醸成し、高齢者の健康寿命の延伸につなげる。